

100周年までのダイジェスト

1886年(明治19年)～1986年(昭和61年)

染工講習所
(上京区西洞院竹屋町上る)



釜座校舎を背景に(明治末年ごろ)



第一工業学校唐橋校舎(昭和10年)



旧校舎から
移転搬出





記念行事ブラスバンド演奏



新築移転創立50周年記念式典



応援部部員
(竹内・森・山本教諭ほか)



記念工展
(電気科の放送実験公開)



一工前に市電が通う (昭和12年5月)



教練査閲 (各個射撃)



衛兵当番

洛陽高校時代の校舎



甲子園晴れの入場行進



工業科創設70周年記念工展校門



食堂の建設（洛陽新聞87号）



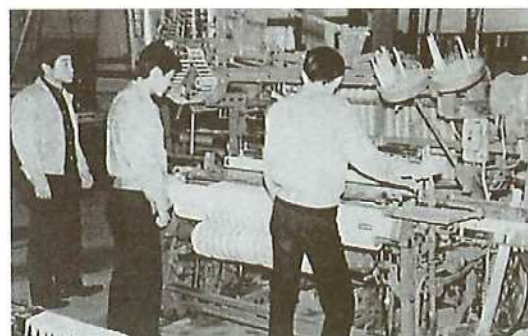
旧食堂での食事風景（昭和41年）



奥谷校長の式辞



昭和30年代 紡織実習





建設中の体育館



創立八十周年記念式典
厳かに行わる

(京工会報33号より)



文化祭 (昭和45年ごろ)



長く親しまれた 大煙突の撤去



文化祭「舞台」(昭和57年)



飾りつけられた校門



電気科生徒によるエール



除幕
(左から 柳本・市教委総務部長、
坂部会長、谷元校長)

1987年（昭和62年）～1996年（平成8年）

創立100周年記念館が竣工し、開館式が挙行される。1階は記念資料館、2階は職員室、3階は格技場として使用されることになった。

平成2年には色染化学科・繊維工学科を統合し染織技術科を設置、電子科を改編し情報電子科を設置、機械科を改編し電子機械科を設置された。学科改編に伴い全学科共用のマイコン実習室・CAD実習室が整備され、各学科の実習室も新設改修工事が行われた。今回の工業教育改善は、情報化・エレクトロニクス化に代表される技術革新の急激な進行と高度化への対応を目指したものであり、全ての学科において、基礎・基本を大切にしながら技術革新に対応できる教育内容の改善が行われた。

平成6年には第4回全国産業教育フェア—京都大会が開催され、染織技術・電気・情報電子の3科が共同製作した長刀鉾ロボット（実物の1／3）や京都市電の模型（実物の1／8）、ソーラーカー等を出展した。

工展



一里野 研修旅行

体育祭





登校風景



創立百周年記念碑



全国産業教育フェア展示



全国産業教育フェア展示



全国産業教育フェア 京都大会



全国産業教育フェア展示



全国産業教育フェア ロボット大会



沖縄 研修旅行



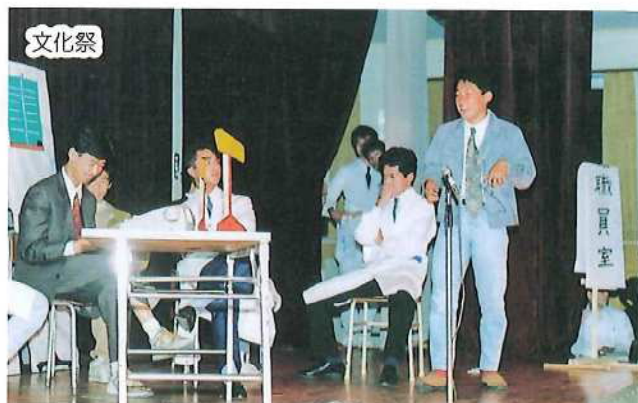
電気科リニアモーターカー



授業風景



文化祭



文化祭



研修旅行



本館



1997年（平成9年）～2006年（平成18年）

平成11年の新生から産業技術系学科群として「京都伝統産業科」25名と「環境科学科」25名の2科が新設され、電気・電子系学科群90名は「電気科」「電子通信科」「電子情報科」の3科となる。機械系学科群60名は「電子機械科」「生産技術科」が設置された。新編成では、産業構造の変化、卒業生の就職および進学を視野に入れた学科の設置と、少人数の学科編成となっている。一方で急激に進む少子化への対応として定員は3割減となる。

定時制課程（夜間4年制）では平成10年にコンピュータ科が定員40名でスタートし、開学以来電気科・機械科・共に続いてきた工業化学科は廃止された。

平成15年には文部科学省「目指せスペシャリスト」事業に認定され、「産業界・大学・研究機関など知的資源を活用した発展的な有機的連携の方策の研究」の研究開発課題に取り組んだ。



遠足

電子通信科
実習



環境科学科 実習



電気科 実習



球技大会



機械系 実習



洛陽祭



京都伝統産業科 実習



環境科学科 実習



電気科 実習



機械系 実習



電子通信科 実習



機械系 実習



体育祭



研修旅行



電気科 ソーラーカーラリー



球技大会



工展



電気科
ソーラーカーラリー



遠足



調理実習



電子通信科 実習



洛陽祭



環境科学科 実習



機械系 実習



京都伝統産業科
実習



遠足



コンピュータ科 実習



文化祭



機械科 実習



体育祭



研修旅行



コンピュータ科 実習



定時制最後の生徒・教職員



コンピュータ科 実習